

近畿大学医学部附属病院の移転後の病床数・診療機能等について

資料1-1

(1) 病床数

	現本院(狭山) 【平成28年12月19日現在】	新本院(堺・泉ヶ丘) 【予定】	現分院(堺) 【平成28年12月19日現在】	新分院(狭山) 【予定】
許可病床数	一般病床 919床 (精神病床 10床)	一般病床 980床 (精神病床 20床)	一般病床 440床	一般病床 300床
稼働病床数	一般病床 919床 (精神病床 10床)	-	一般病床 282床	-

(2) 診療科目の比較

	現本院(狭山) 【平成28年12月19日現在】	新本院(堺・泉ヶ丘) 【予定】	現分院(堺) 【平成28年12月19日現在】	新分院(狭山) 【予定】
			内科	
循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科
糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科	内分泌・糖尿病内科	糖尿病・内分泌内科
消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科	消化器内科
血液内科	血液内科	血液内科	血液内科	血液内科
腎臓内科	腎臓内科	腎臓内科	腎臓内科	腎臓内科
神経内科	神経内科	神経内科	神経内科	神経内科
腫瘍内科	腫瘍内科	腫瘍内科	腫瘍内科	腫瘍内科
呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器内科
心療内科	心療内科	心療内科	心療内科	心療内科
外科	外科	外科	外科	外科
心臓血管外科	心臓血管外科	心臓血管外科		心臓血管外科
脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科
消化器外科				
小児外科				
		産科		産科
産婦人科	産婦人科	産婦人科	婦人科	産婦人科
小児科	小児科	小児科	小児科	小児科
眼科	眼科	眼科	眼科	眼科
皮膚科	皮膚科	皮膚科	皮膚科	皮膚科
形成外科	形成外科	形成外科		形成外科
泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科	泌尿器科
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科
精神科	メンタルヘルス科			メンタルヘルス科
麻酔科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	麻酔科
整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科
放射線治療科	放射線治療科			
放射線診断科	放射線診断科		放射線科	放射線診断科
救急科	救命救急科			
	ER科			
緩和ケア内科	緩和ケア科	緩和ケア内科	緩和ケア内科	緩和ケア科
リハビリテーション科	リハビリテーション科	リハビリテーション科	リハビリテーション科	リハビリテーション科
病理診断科	病理診断科	病理診断科	病理診断科	病理診断科
歯科口腔外科	歯科口腔外科			歯科口腔外科
矯正歯科				
歯科			歯科	
漢方内科	漢方内科			
	PET科			

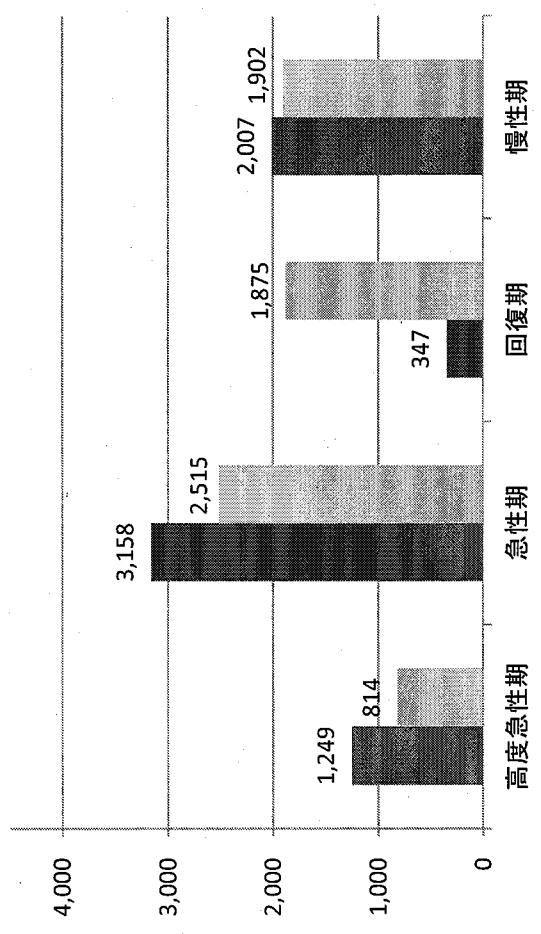
(3) 病床機能報告により病床機能区分報告

現本院(狭山) 【平成27年度】	新本院(堺・泉ヶ丘) 【予定】	現分院(堺) 【平成27年度】	新分院(狭山) 【予定】
高度急性期	高度急性期	急性期	急性期

必要病床数(2025年度)と病床機能報告(2015年度)との比較【南河内医療圏】

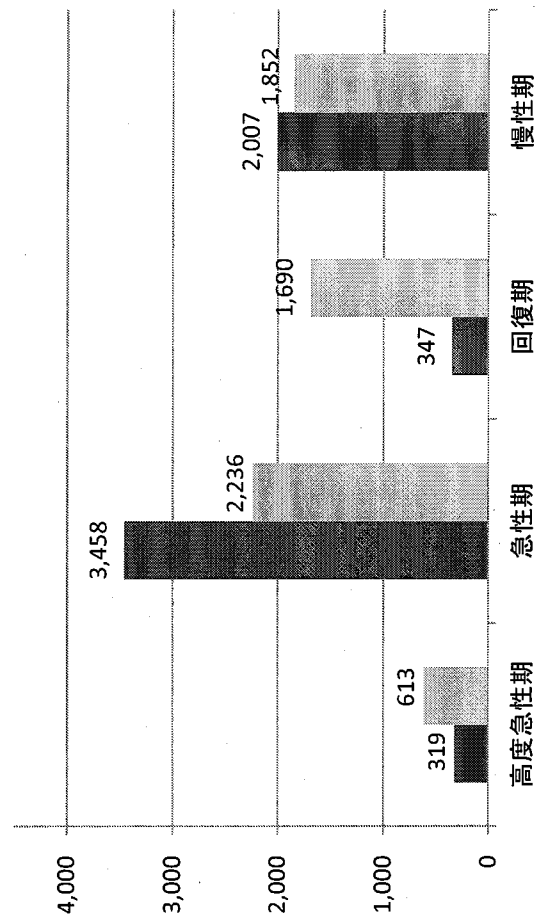
従来の数値

(床)



近大病院が移転した場合

(床)



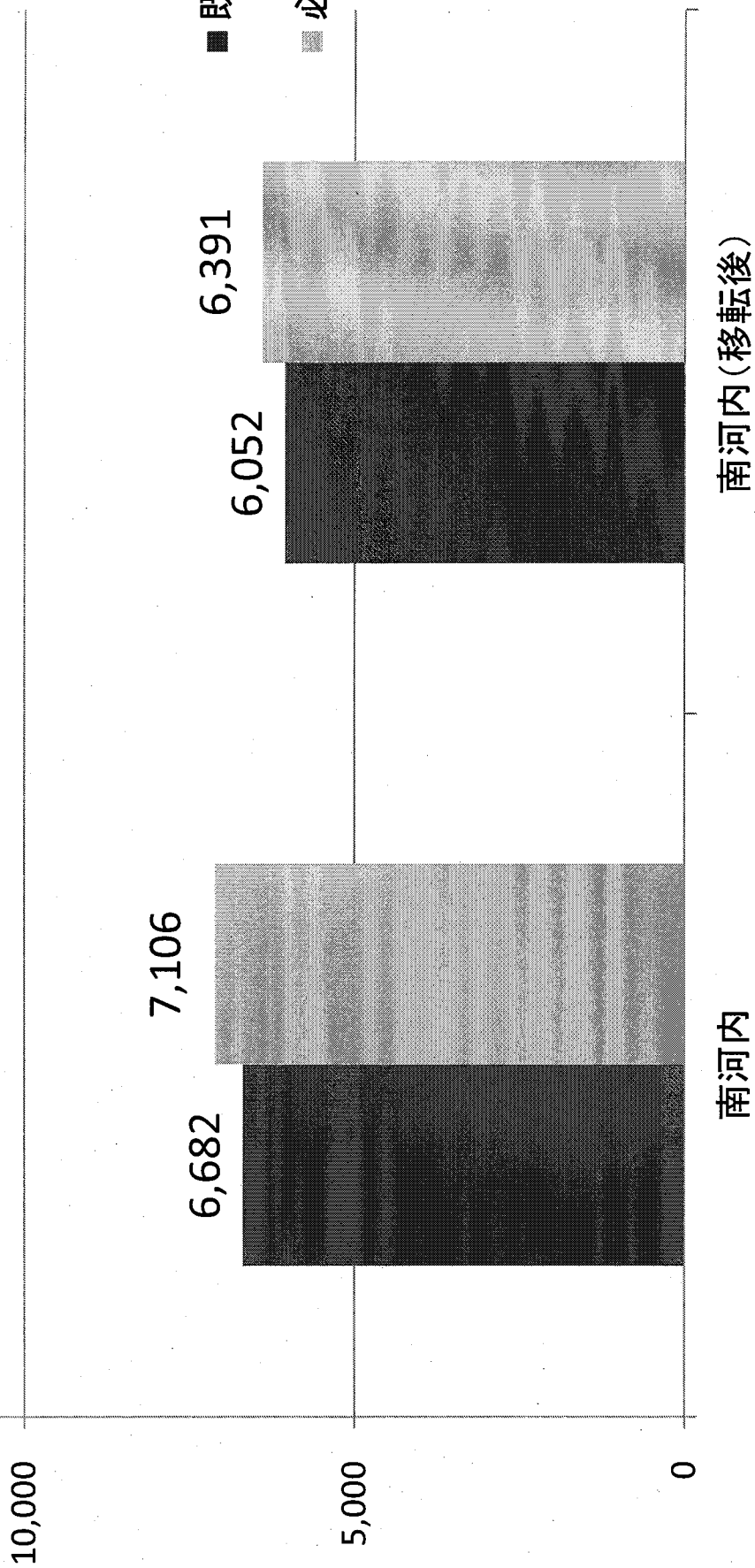
■ 病床機能報告

■ 必要病床数

※病床機能報告: 現近大病院本院の報告(高度急性期930床)を減らし、新近大病院分院の報告予定分(急性期300床)を追加

近畿大学移転に伴う既存病床数(2015年)と必要病床数(2025年)の変化

(床)



近畿大学医学部附属病院の移転に伴う必要病床数への影響について

1 現近畿大学(本院)の占める必要病床数

単位: 病床数	
2013年度 既存病床数(A)	(B)/(A)
南河内	0.97
現本院	0.97

南河内既存病床数: 平成25年4月1日現在
近大病院病床数: 平成25年度DPC対象病床数

2 現近畿大学(本院)医療機能区分ごとの必要病床数(2013年度)

単位: 病床数					
高度急性期(C)	急性期(D)	回復期(E)	慢性期(F)	合計(G)	
(I)南河内	741	2,089	1,468	2,154	6,452
(II)現本院 ^{*1}	273	334	210	83	900

※1 近大が提出したDPCレセプトデータと現本院の必要病床数(2013年度)から推計

3 現近畿大学(本院)医療機能区分ごとの必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(H)	急性期(I)	回復期(J)	慢性期(K)	合計(L)	
(I')南河内	814	2,515	1,875	1,902	7,106
(I'')/(I)	1.10	1.20	1.28	0.88	
(II')現本院=(II')*(I'')/(I)	300	403	269	73	1,045

合算

4 現近大病院(本院)と(分院)の医療機能区分ごとの必要病床数 合計(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	
(V)本院+分院=(II')+(IV')	421	530	357	98	1,406

5 移転後の近大病院(分院)医療機能区分ごとの必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(M)	急性期(N)	回復期(O)	慢性期(P)	合計(Q)	
(II'')新分院=(V)*300/1280	99	124	84	23	330

移転予定病床数に基づき配分
【新本院:新分院=980:300】

6 移転後の南河内の必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(R)	急性期(S)	回復期(T)	慢性期(U)	合計(V)	
(I'')南河内=(I'')-(II'')+(I')	613	2,236	1,690	1,852	6,391

7 移転後の南河内と堺市の必要病床数合計(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(R)	急性期(S)	回復期(T)	慢性期(U)	合計(V)	
(VI)合計=(I'')+(III')	1,805	5,643	4,446	5,104	16,998

※計算過程においては、小数点以下の数字についても反映しています。

1 現近畿大学(分院)の占める必要病床数

単位: 病床数	
2013年度 既存病床数(a)	(b)/(a)
堺市	0.99
現分院	0.99

堺市既存病床数: 平成25年4月1日現在
近大病院病床数: 平成25年度DPC対象病床数

2 現近畿大学(分院)医療機能区分ごとの必要病床数(2013年度)

単位: 病床数					
高度急性期(c)	急性期(d)	回復期(e)	慢性期(f)	合計(g)	
(III')堺市	861	2,529	1,959	3,947	9,296
(IV')現分院 ^{*2}	105	103	67	31	306

※2 近大が提出したDPCレセプトデータと現分院の必要病床数(2013年度)から推計

3 現近畿大学(分院)医療機能区分ごとの必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(h)	急性期(i)	回復期(j)	慢性期(k)	合計(l)	
(III'')堺市	991	3,128	2,571	3,202	9,892
(III''')/(III)	1.15	1.24	1.31	0.81	
(IV'')現分院=(IV'')*(III''')/(III)	121	127	88	25	361

高河内医療圏と堺市医療圏の必要病床数の合計(L)+(I)=16,998

4 現近大病院(本院)と(分院)の医療機能区分ごとの必要病床数 合計(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	
(V')本院+分院=(II')+(IV'')	421	530	357	98	1,406

5 移転後の近大病院(本院)医療機能区分ごとの必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(m)	急性期(n)	回復期(o)	慢性期(p)	合計(q)	
(II''')新本院=(V')*980/1280	322	406	273	75	1,076

6 移転後の堺市の必要病床数(2025年度)

単位: 病床数					
高度急性期(r)	急性期(s)	回復期(t)	慢性期(u)	合計(v)	
(III''')堺市=(III''')-(IV''')+(IV'')	1,192	3,407	2,756	3,252	10,607